

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	(有)劇団角笛
公演団体名	(有)劇団角笛

内容
<p><影絵人形を作り、映してみる></p> <ol style="list-style-type: none">1. 影ができる三要素、照明を扱う上での注意点など、説明を聞きます。2. 影絵人形(又は道具)をつくります。3. つくった人形や道具を、照明でスクリーンに映してみます。4. 動かしたり、大きさを変えたり、表現を工夫し、変化やおもしろさを発見します。5. 感想や質問を發表します。

タイムスケジュール(標準)
90分 説明15分 制作45分 発表・質疑応答30分

派遣者数
3~6名 ※コロナ対策により人数変動あり

学校における事前指導
特になし

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	(有)劇団角笛
公演団体名	(有)劇団角笛

演目
「花さき山」 「影とあそぼう」 「つのぶえのうた」

派遣者数
10名

タイムスケジュール（標準）
「花さき山」 20分 「影とあそぼう」 15～20分 「つのぶえのうた」 10分 合計約45～50分 ※その他、舞台裏見学10～20分

実施校への協力依頼人員
特になし (会場内の照明スイッチが舞台側から遠い場合にのみお一人お願いすることがあります)

演目解説

角笛シルエット劇場は、独自の技法を駆使した影絵人形劇です。大きなリアスクリーンを使用した色鮮やかなシルエットが特徴です。三部構成(物語、影絵解説、うたと影絵のファンタジー)です。

1. 「花さき山」(約20分)

心の優しい女の子あやが、花さき山で出会ったおばばに聞いた不思議なお話です。道徳教材として取り上げられている児童文学を美しくわかりやすく影絵人形劇として表現しています。

2. 影絵解説「影とあそぼう」(約15～20分)

光の三原色やしくみなどを解説し、影絵クイズや簡単にできる手影絵も紹介します。

3. 「つのぶえのうた」(約10分)

多彩な技術を組み合わせ、変化に富んだ影絵と軽快なリズムや音楽を融合させた、うたと影絵のファンタジーです。

※公演終了後、舞台裏見学(約10～20分)もできます。学校側と調整し実施を考えます。

※コロナ対応として当初提出時間より「影とあそぼう」「つのぶえのうた」を短くしております。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

1. 児童生徒が本公演にワークショップでつくった影絵人形(道具)を登場させます。学校(会場)の規模や児童の状況に応じて、児童生徒自身が操作、或は劇団スタッフが操作する場合があります。または、照明や大道具の操作に参加する場合があります。
ワークショップで制作する人形(道具)により役割りが決まり、公演の担当が明確になります。
2. 観客としては、影絵クイズに答えたり、手影絵をつくったり、音楽に合わせて歌ったり体を動かしたりする参加型の演出を含んでいます。

児童生徒とのふれあい

児童生徒は、劇団スタッフと直接ふれあいながら指導を受け、参加・観劇することを通して舞台芸術に興味関心を抱く機会となります。

影絵人形劇(制作から上演、観劇まで)にふれることは、自由に発想する面白さ、影絵の不思議や驚き、参加・挑戦する緊張感や高揚感、他の児童生徒、劇団スタッフと出来事などを共有する喜びを体験します。それら他人の様々な反応から、共通認識や個性を感じとり、更に豊かな想像を育むことに繋がります。

特に、人がリアルタイムでつくりだすあたたかい影絵人形劇は、録画映像とは異なり、生の舞台でしか体験できないものです。感受性豊かな発達段階の児童生徒は、透過光と影が織りなす幻想美豊かな舞台芸術の中で、人とのふれあいに魅力を感じることでしょう。